

2018年度事業計画

1. 学術大会、学術講演会、研修会、研究会等開催

- 1) 第35回大会の開催（北海道札幌市）
大会長：東端憲仁（北海道立緑ヶ丘病院）
開催日程：2018年5月12日 - 13日
開催場所：北星学園大学

1) 研修会等の開催

【教育研修委員会】

- ① 日本集団精神療学会第35回大会プレコンgres
開催日：2018年5月11日
場 所：北星学園大学
内容等：体験グループ、事例検討
- ② 第30回研修会
開催日：2018年11月10日、11日
場 所：日本赤十字看護大学
内容等：体験グループ、入門コースほか

【相互支援委員会】

- ① 「東日本大震災等の相互支援グループ」の開催。
第47回：2018年5月13日（日） 9：30～12：30， 札幌：北星学園大学
日本集団精神療学会第35回大会
第48回 2018年6月24日（日） 10：30～15：45， 仙台：仙台市医師会館
（共催）一般社団法人 東日本大震災子ども・若者支援センター、
東北集団精神療法研究会、みやぎ集団精神療法研究会
第49回 2018年10月21日（日）10：30～15：45， 福島：福島テルサ
（共催）東北集団精神療法研究会
- ② その他の研修会：相互支援委員会との共催
 - ・ 3.11大震災を語るグループ主催研修会
2018年2月18日（日）10：30～16：00， 東京：錦糸町クボタクリニック
 - ・ 京都集団療法研究会主催研修会「災害とメンタルヘルスを語るグループ」
2018年7月22日（日）10：30～16：45， 京都：田原メンタルクリニック
 - ・ KOBEグループ勉強会主催研修会
2018年12月2日（日）

2. 集団精神療法及び各種集団を用いた治療的・教育的方法の理論とその応用に関する研究 とくになし。

3. グループサイコセラピスト育成と認定

【教育研修委員会】

- 1) CGS ミーティングの開催
第35回大会、第30回研修会にあわせて2回開催予定
- 2) 委員会会議の開催
第35回大会、第30回研修会にあわせて2回開催予定
- 3) 認定と登録
申請に応じて審査、登録を行う。
- 4) 教育研修システム要項の変更
必要に応じて適宜行う。

4. 学会誌及びニュースレター、インターネット等による情報提供

【編集委員会】

- 1) 「集団精神療法」34巻1号、34巻2号の刊行。
- 2) 投稿規定（種別・分量の変更等について）
- 3) 執筆規定の改定
- 4) 利益相反に関する要記載事項の決定

【広報委員会】

- 1) 学会ホームページ
 - ① コンテンツの充実により、会員の活用促進を目指すとともに、社会に向けて集団精神療法学会の活動を広報し、より多くの人に集団精神療法に興味関心を持ってもらえるように工夫を図る。
 - ② ニュースレターの電子化に対応する。
- 2) ニュースレター
 - ① 紙媒体から電子化への移行を準備する。2019年度からの実施を目指し、会員への周知、会員のメールアドレスの確認作業を行う。
 - ② 電子化の利点を活かしたニュースレターを企画する。
 - ③ 年1回（紙媒体）のニュースレターの発行
- 3) 学会パンフレット
2018年中の作成・配布を目指し、ワーキンググループ・ミーティングを必要に応じて開催する。

5. 国内外関連団体との連携及び研究協力

【国際委員会】

- 1) 1月23日～24日 IAGP 理事会（スペイン・サンタンデール）前田潤委員出席
- 2) 7月29日、30日及び8月5日 IAGP 理事会（スウェーデン・マルメ）関百合理事 西村馨理事出席予定

【渉外委員会】

当学会の活動に関連する課題を検討するために、精神保健医療福祉に関する最新の話題を理事会にフィードバックする。

具体的には、関係団体との意見交換、情報収集として隔月に開催される精従懇定例会に出席する。構成団体のネットワークを情報交換、資料収集に活用する。

6. その他前条目的を達成するために必要な事業

【組織委員会】

- 1) 定款および選挙規則の検討
- 2) 委員会開催予定 9月

【倫理委員会】

- 1) 現行「研究倫理規程」の見直しと「研究倫理ガイドライン」の作成
- 2) 現行「倫理綱領」の見直しと改定作業に向けたタスク整備の決定
- 3) 2019年第36回大会での倫理関連に関する企画準備

【事務局】

- 1) 代議員会、理事会の開催
 - ① 代議員会の開催：2018年3月25日
 - ② 理事会：5回開催
- 2) 学術大会の開催支援
 - ① 第35回大会支援（2018年5月・北海道札幌市）
 - ② 第36回大会支援（2019年3月・東京）
 - ③ 第37回大会支援（2020年春）
- 3) その他、会員および収支予算の管理、システム整備